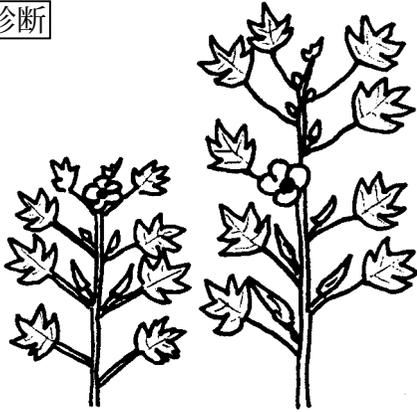


生育診断

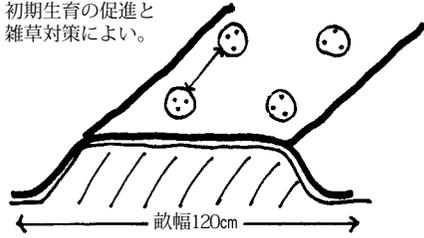


栄養条件が悪い場合は花が頂部につきます。若どりして追肥をしましょう。

生育が順調な場合には花の上にも展開葉もっている。

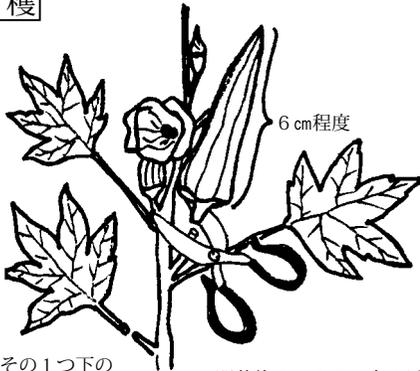
畝立てと種まき

黒マルチをすると初期生育の促進と雑草対策によい。



じかまきは、30cm間隔に1カ所3粒をまき、覆土(約1cm)します。

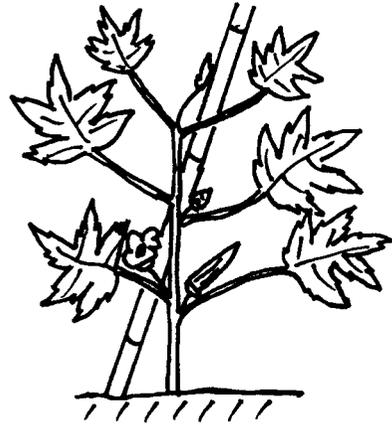
収穫



収穫したらその1つ下の葉をかぐ

開花後5～6日、実の長さが6 cm程度のころ収穫します。

支柱立て



風当たりの強いところでは30cmぐらいになったころ支柱を立ててひもで結束します。

今月の作業

★今月まく野菜

インゲンマメ、エダマメ、スイートコーン、ホウレンソウ、チンゲンサイなどがあります。

★今月植える野菜

スイカ、マクワウリ、ハヤトウリ、サツマイモ、シヨウガ、レンコンなどがあります。

★今月収穫できる野菜

イチゴ、キャベツ、サラダナ、エンドウ、ソラマメ、タマネギ、バレイシヨなどがあります。

★果菜類の支柱立て

キュウリ、トマトでは合掌式、直立式に、ナス、ピーマン、シシトウは根張りが悪く倒れやすいので、植え終わったら五〇～六〇cmの支柱を立て誘引します。

楽しい家庭菜園



農業試験場三木分場
伊藤 博紀

オクラを作ろう！

オクラはアフリカ北部原産のアオイ科の植物で大きな黄色い花を咲かせます。オクラは、その花の咲いた後にできる若いサヤで、粘り気のある独特の味が人気の野菜です。若いサヤに各種のビタミンやタンパク質などがバランス良く含まれています。

①栽培のポイント
土質は特に選びませんが、水はけの良い肥えた耕土の深いところが適します。生育期間が長いので、連続して収穫を続けるためには、肥えぎれさせないことが大切です。

②家庭菜園に適した品種
オクラにはさやの断面が丸、五角、八角の三つのグループがあり、普通は五角の品種（アーリーファイブ、グリーンスターなど）を用います。

③畑の準備
種まきの一〇日前に、一〇㎡当たり堆肥二〇kg、苦土石灰一kgをまいて耕し、緩効性の高度化成肥料五〇〇gを施し、幅一二〇cmの畝を作ります。直根性なので深く耕すことがこつです。

④種まき
オクラは寒さを嫌うので、家庭菜園の場合、四月下旬、できれば五月に入ってから種まき。種は皮が固く、そのままでは、発芽しにくいので、三〇℃くらいの水につけて皮が軟らかくなったのを確認してから、三〇cm間隔に三粒まきます。移植を嫌うので普通は直まきとしますが、ポットにまいて小苗を植え付けることもできます。

⑤手入れ
直まきの場合には本葉が四～五枚のころ、生育の良い苗を一本残し、あとは間引きます。側枝は早めに全部摘み取り、一本仕立てとします。また、草丈は一・五mにもなるので、支柱を立てることをおすすめします。まれにかぶれる場合があるので、肌の弱い方は作業の時手袋をつけるとういでしょう。開花が始まれば、月一回程度草勢を見ながら少量の化成肥料を追肥として施します。かん水は盛夏期に乾燥が続く場合に行います。なお葉が繁りすぎると実のつきがよくないので、収穫始め頃から葉かぎをします。

⑥収穫
収穫は実の長さが六cm位の頃が良く、遅れると硬くなって食べられないので、適期収穫にとめます。

栽培時期

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	適する品種
				○	■					アーリーファイブ グリーンスター

○ 種まき ■ 収穫